

船舶事故等調査報告書

平成24年11月22日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012神第101号
事故等種類	乗揚
発生日時	平成24年7月19日（木） 14時40分ごろ
発生場所	大阪府阪南港第3区の二色の浜沖 大阪府泉佐野市所在の阪南港泉佐野沖防波堤北灯台から真方位068° 1,540m付近 （概位 北緯34° 26.5′ 東経135° 20.0′）
事故等調査の経過	平成24年8月2日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート スーパー ホーク、12.56トン
船舶番号、船舶所有者等	240-51015大阪、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士
死傷者等	なし
損傷	両舷プロペラ翼及び左舷側の舵が曲損、船尾船底部に擦過傷
事故等の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、ダイバー等4人を乗せ、阪南港第3区の二色の浜沖に設置された消波ブロック付近において漂流し、ダイバーにより本船が落とした錨の捜索中、船長が、風により圧流されて消波ブロックに接近していることに気付き、ダイバーに接近しないようにしながら反転して消波ブロックから離れようとしたが、平成24年7月19日14時40分ごろ船尾船底が消波ブロックに乗り揚げた。 本船は、自力離礁して帰航した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南西、風力 4、視界 良好 海象：海上 白波あり、潮汐 上げ潮の初期、潮高 約40cm
その他の事項	本船は、船首約1.0m、船尾約1.7mの喫水であった。
分析	
乗組員等の関与	あり
船体・機関等の関与	なし
気象・海象の関与	あり
判明した事項の解析	本船は、阪南港第3区の二色の浜沖において漂流中、風により圧流されて消波ブロックに接近したことから、船長が反転して消波ブロックから離れようとしたが、船尾船底が消波ブロックに乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、阪南港第3区の二色の浜沖において漂流中、風により圧流されて消波ブロックに接近したため、船長が反転して消波

	<p>ブロックから離れようとしたが、船尾船底が消波ブロックに乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 漂泊して作業を行う場合には、風による圧流を考慮して浅所などから隔てた所で漂泊すること。